

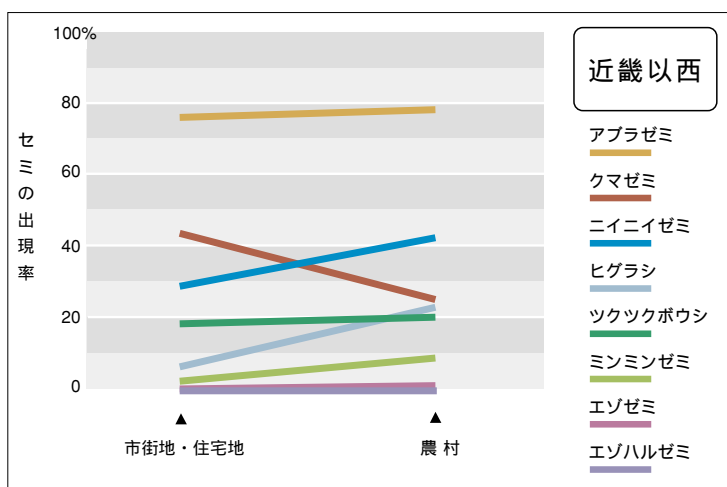
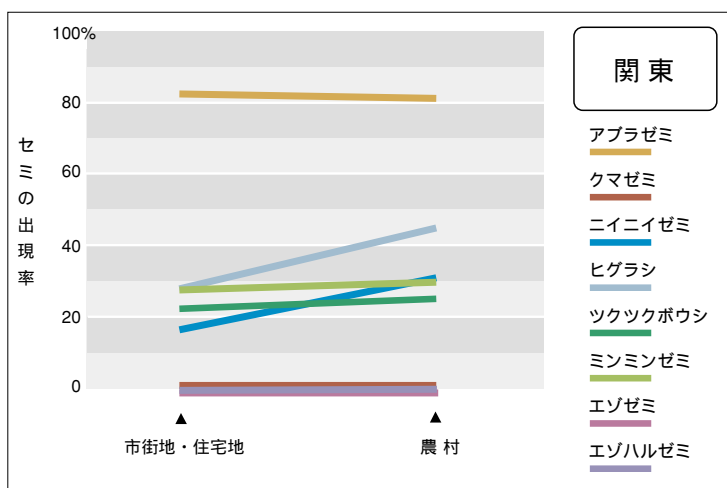
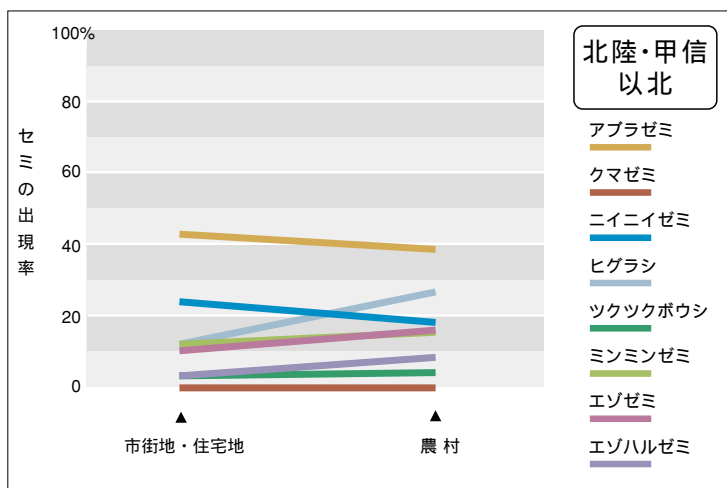
地域や環境で違うセミの仲間

地域別にまとめた周辺環境とセミの出現率の関係についてグラフをみてみましょう。

最初に気づくことは、地域によって見られるセミが違うということです。北陸・甲信以北ではエゾゼミやエゾハルゼミ

が、関東地方では明らかにミンミンゼミが生息する林の割合が高くなっています。また、近畿以西ではクマゼミが出現する林が増える傾向にありました。一方、どの地域のどの周辺環境にも高い頻度で出現しているのはアブラゼミで、身近な林でもっとも普通なセミといえます。

周辺環境別にみたセミの状況



アブラゼミ

Graptopsaltria nigrofuscata



ツクツクボウシ

Meimuna opalifera



クマゼミ

Cryptotympana facialis



ミンミンゼミ

Oncotympana maculicollis



ニイニゼミ

Platypleura kaempferi



エゾゼミ

Tibicen japonicus



ヒグラシ

Tanna japonensis



エゾハルゼミ

Terpnosia nigricosta



地域の区分

北陸・甲信以北：北海道・青森・岩手・宮城・秋田・山形
福島・新潟・富山・石川・福井・山梨・長野

関東：茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川

近畿以西：三重・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山
鳥取・島根・岡山・広島・山口・香川・徳島
愛媛・高知・福岡・佐賀・熊本・長崎・大分
宮崎・鹿児島・沖縄

注) 岐阜・愛知・静岡は、セミの種構成がそれぞれの地域の中間の特徴を示すため、集計には含めませんでした。